

平成25年度「学校・地域パートナーシップ事業」取組の概要

市町村名	学校名等
王寺町	王寺町立王寺南中学校

1 基本コンセプト（取組のねらいや考え方など）

《学校・地域パートナーシップ事業》

A. キャリア教育

「未来を拓く」を合い言葉に、人間関係構築力の育成を主眼として多くの講師にお話をしていただいた。

B. 環境整備

地域の方々に、王寺町の「水と緑の町づくり」にあわせて花の植え付けや校内施設の修理に参加いただいた。

C. 学習支援

図書室の整備・読み聞かせにおいていただいた。

D. 地域交流

地域の敬老会・幼稚園児との交流。また、地域の芸術家の作品展示・エコキャップの回収に協力いただいた。

《放課後子ども教室》

A. ボランティア教室

生徒会を窓口とし、生徒が福祉作業所との交流活動や町の福祉祭りに参加した。

B. 部活動指導

4つの部活動の技術指導に講師においていただいた。

2 取組の概要

A. キャリア教育

ニートの存在が顕在化する中、望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身につけさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てる教育を行う必要があるとの視点から本校ではキャリア教育に力を入れている。

○ 職場体験学習（実施時期：11月13日～15日）

地域連携の大きな成果として、地域の人々が職場に中学生を受け入れていただく「職場体験学習」が挙げられる。王寺町では平成11年度から実施され、今や全国に広がっている。本年度本校は王寺町内外26ヶ所の事業所に、2年生60名の生徒を受け入れていただいた。



B. 環境整備

毎年12月に行っている、生徒・保護者対象の学校運営アンケートには常に「南中学校は美しい環境に保たれている」と評価されている。学校支援地域本部の時代から続いている、地域の学校支援ボランティア活動の一環である。

○ 園芸ボランティア（実施時期：5月24日～12月4日）

支援本部時代からお手伝いいただいている地域のボランティアさんに加え、中学生のボランティアを募集し、地域の方々と中学生が協力して校内のプランター150個に花の苗を植える事ができた。本校では、春と秋の年2回の恒例行事となりつつある。校門から玄関に向けてプランターを並べて美しい環境を整えた。



C. 学習支援

小学校と比較して中学校では授業内容が高度になり、直接授業にボランティアの皆さんが参加していただく機会はそう多くない。間接的または放課後子ども支援としての部活動での支援は今後も継続される可能性がある。

C1. 読書支援（図書館整備実施時期：5月22日～10月25日）

昨年に引き続きボランティアの皆さんに、図書館図書の整備（書架の整理・廃棄図書の整理・図書の補修・図書室美化など）を行っていただいた。



C2. 朗読（4月18日～3月7日）

月に1度の割合で、朝読書の時間に「青い実の会」の人々に朗読を行っていただいた。朝の読書の時間は図書に親しむ時間の確保に加えて、落ち着いた心で学校生活を開始する機会



を与えてくれている。

D. 地域交流

学校は地域に支えられている部分があり、本校校区は歴史的にPTA活動が活発に行われて来た。それらを基盤として近年は、幼小中学校にも交流を広げようとしている。学校行事を利用し、幼小中や地域との連携を図っている。

D1. 幼稚園（実施時期：5月17日～11月5日）

本年度は、王寺幼稚園の年中クラスの園児たちと、サツマイモの植え付け・収穫を行いました。学校評議員さんに耕耘機を持ち込んで頂き、畑づくり・施肥を始め、水やりや管理の方法を教えていただくとともに、収穫時にはいものつるの整理なども助けていただいた。体育大会には南幼稚園の園児とともに、中学生と一緒に競技を行った。幼稚園児に対し、とても優しい心で接していた。



D2. 南中ギャラリー（実施時期：6月22日～9月13日）

例年、春のオープンスクールと文化祭に地域の方の美術作品を展示していただいている。本年度は春には「木工家具を中心に」というテーマでいろんな家具を展示しました。また秋には陶芸作品とPTA 会員の手芸作品の展示を行いました。



○成果と課題

成果：本校では平成20年度～22年度の3年間「学校支援地域本部」が多彩な活動を行っており、本年度本校はその成果を引き継いで上記の活動を行った。年々、コーディネーターさんの積極的な仲介がなくとも、種々の活動が継続することができるようになってきている。また、学校においでいただいた地域の人々と生徒が町で顔を合わせ、自然に挨拶する光景も増加している。

課題：地域の人々が学校に来ていただく機会は増加しているが、生徒が町に出る機会はそう増加していない。かつてはコーディネーターさんに行っていた仕事を学校教員が行うようになり、結果として教員の仕事が増加し、子どもと向き合う時間が少なくなっている。

《放課後子ども教室》

A ボランティア教室

1. 教室名：ボランティア教室
2. 場所：王寺町福祉作業所
3. 活動日：年間7日
4. 参加生徒数：のべ35名
5. スタッフ
(1) コーディネーター1名
(2) ボランティアスタッフ4名
6. 主な活動内容



生徒会執行部を中心に、王寺町福祉作業所「ポエム」の皆さんと交流を行っている。町主催の福祉祭りや通常の作業のお手伝いを行っている。作業所の指導員さんにボランティアの指導をお願いしている。

B. 部活動指導

1. 教室名：部活動指導
2. 活動日：年間96日
3. 参加生徒数：のべ96名
4. スタッフ
(1) コーディネーター1名
(2) ボランティアスタッフ4名
5. 安全管理部活動顧問が付き添う
6. 主な活動内容



本年度は、吹奏楽部・バドミントン部に外部指導者をお招きし、本校の顧問と連携しながら技術指導を行っていただいた。指導は通常の練習に加え、練習試合会場や試合会場へ足を運んでいただいたこともあった。

○成果と課題

成果：福祉作業所へのボランティア活動を通して、生徒達の眼が少し自分たちの暮らす町にそそがれるようになった。部活動では、生徒達の技術的な成長に加え、指導いただく方々も「自分の勉強になります」とおっしゃっている。

課題：部活動で専門的な技術を持つ方々の配置と時間の調整に難しさを覚える。